



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年10月30日

上場会社名 アイカ工業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 4206 URL <https://www.aica.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 海老原 健治

問合せ先責任者 (役職名) 財務統括部長 (氏名) 森 要輔

TEL 052-533-3135

四半期報告書提出予定日 2023年11月9日

配当支払開始予定日 2023年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	113,307	3.7	11,406	20.9	12,047	17.0	7,390	14.8
2023年3月期第2四半期	117,704	19.3	9,437	0.1	10,294	1.4	6,436	2.7

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 15,998百万円 (9.0%) 2023年3月期第2四半期 17,582百万円 (63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	115.53	115.49
2023年3月期第2四半期	100.62	100.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	266,239	170,326	58.5
2023年3月期	250,049	158,074	58.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 155,645百万円 2023年3月期 145,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		50.00		59.00	109.00
2024年3月期		52.00			
2024年3月期(予想)				59.00	111.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	3.3	21,500	4.6	22,500	1.9	13,200	31.2	206.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	67,590,664 株	2023年3月期	67,590,664 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,619,478 株	2023年3月期	3,627,311 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	63,967,252 株	2023年3月期2Q	63,960,806 株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式(2024年3月期2Q 47,300株、2023年3月期47,500株)が含まれております。また、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期2Q 47,467株、2023年3月期2Q 47,600株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法)

当社は、2023年11月24日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、日本国内においては、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けが5類感染症に移行し、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。アジア・オセアニア地域の経済につきましては、中国では景気の回復に減速感が見られますが、その他の地域では好調に推移しました。しかしながら、足元では原材料価格が再度高騰している上、円安の進行や世界的な金融引き締めによる景気への影響など、国内外ともに先行きは不透明な状況で推移しております。

国内建設市場においては、住宅着工戸数は、貸家は増加しましたが、持家やマンションが減少し、前年を下回りました。非住宅関連においては、店舗、工場、倉庫などの着工面積が減少し、前年を下回りました。

このような経営環境の下、当社グループは、中期経営計画「Value Creation 3000 & 300」の方針に基づき、収益性の改善、成長事業の創出・育成、健全な経営基盤の構築などを推進いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高113,307百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益11,406百万円（同20.9%増）、経常利益12,047百万円（同17.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7,390百万円（同14.8%増）となりました。

セグメントの業績については次のとおりであります。なお、セグメント間の内部売上は除いております。

（化成品セグメント）

接着剤系商品は、国内においては、合板用接着剤が低迷しましたが、施工用接着剤やアクリル・コンパウンド製品が好調で、売上が前年を上回りました。海外においては、原材料価格の低下が売価に影響を与え、売上は前年を下回りました。

建設樹脂系商品は、外装・内装仕上塗材「ジョリパット」が好調に推移したことから、売上が前年を上回りました。

非建設分野への取り組みとして注力している機能材料事業につきましては、国内においては、化粧品用途の有機微粒子や電子材料用途のUV硬化型樹脂が好調でしたが、工業用途の有機微粒子が低調で、売上は前年を下回りました。海外においても、テキスタイル用のウレタン樹脂やパッケージ用のUV硬化型樹脂等が低迷し、売上が前年を下回りました。

この結果、売上高は63,697百万円（前年同期比11.1%減）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は4,225百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

（建装建材セグメント）

メラミン化粧板は、国内においては、ホテルや医療福祉施設などの非住宅市場での需要を獲得し、売上が前年を上回りました。海外においても、東南アジア各国で売上が好調に推移し、売上が前年を上回りました。

ボード・フィルム類は、粘着剤付化粧フィルム「オルティノ」が堅調でしたが、汎用的なポリエステル化粧合板が横ばいで推移し、全体としても売上は横ばいでした。

メラミン不燃化粧板「セラール」は、キッチンパネル用途は横ばいで推移しましたが、医療福祉施設や店舗などの非住宅需要を獲得するとともに、高意匠メラミン不燃化粧板「セラール セレント」や抗ウイルスメラミン不燃化粧板「セラールウイルテクトPlus」の採用が新築・改修向けともに拡大し、売上が前年を上回りました。

不燃建材は、アクリル樹脂系塗装けい酸カルシウム板「ルナライト」や非住宅向けの不燃ボード「マーレス不燃」が好調でしたが、押出成形セメント板「メース」が低調に推移し、売上が前年を下回りました。

住器建材は、住宅向け洗面化粧台「スマートサニタリー」や非住宅向けのトイレブース、汎用的なポストフォームカウンターが新築・改修向けともに好調で、売上を伸ばすことができました。

この結果、売上高は49,610百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益（配賦不能営業費用控除前）は9,090百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は168,500百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,221百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が9,177百万円、商品及び製品が1,188百万円、流動資産その他が638百万円増加したことに対し、受取手形が993百万円減少したことによるものであります。固定資産は97,738百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,969百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が3,694百万円、投資その他の資産が3,696百万円増加したことに対し、無形固定資産が421百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、266,239百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,190百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は61,926百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,257百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が1,159百万円、流動負債その他が1,043百万円増加したことによるものであります。固定負債は33,986百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,680百万円増加いたしました。これは主に固定負債その他が1,358百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、95,912百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,938百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は170,326百万円となり、前連結会計年度末に比べ12,252百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が3,613百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益が7,390百万円及び剰余金の配当3,776百万円）、その他有価証券評価差額金が2,185百万円、為替換算調整勘定が4,638百万円、非支配株主持分が1,812百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.5%（前連結会計年度末は58.1%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画通りに推移しており、2023年4月28日に公表した業績予想に変更はありません。今後の景気の動向によって通期の業績見込みについては見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

（1）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,993	60,170
受取手形	21,419	20,426
売掛金	48,250	48,032
商品及び製品	15,867	17,056
仕掛品	1,575	1,771
原材料及び貯蔵品	13,979	13,493
その他	8,129	8,767
貸倒引当金	△934	△1,218
流動資産合計	159,279	168,500
固定資産		
有形固定資産	60,872	64,566
無形固定資産		
のれん	3,617	3,454
その他	8,915	8,656
無形固定資産合計	12,532	12,110
投資その他の資産		
その他	17,366	21,170
貸倒引当金	△1	△108
投資その他の資産合計	17,365	21,061
固定資産合計	90,769	97,738
資産合計	250,049	266,239
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,824	29,356
電子記録債務	6,126	7,285
短期借入金	7,299	7,218
未払法人税等	4,058	3,582
賞与引当金	2,147	1,947
有償支給取引に係る負債	2,165	2,446
その他	9,047	10,090
流動負債合計	59,669	61,926
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	18,072	18,063
長期借入金	4,222	4,194
退職給付に係る負債	1,577	1,935
その他	8,434	9,792
固定負債合計	32,305	33,986
負債合計	91,974	95,912
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,891	9,891
資本剰余金	8,541	8,545
利益剰余金	119,695	123,308
自己株式	△6,141	△6,128
株主資本合計	131,986	135,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,270	6,456
繰延ヘッジ損益	△12	△2
為替換算調整勘定	8,962	13,600
退職給付に係る調整累計額	△5	△26
その他の包括利益累計額合計	13,215	20,028
新株予約権	23	19
非支配株主持分	12,848	14,660
純資産合計	158,074	170,326
負債純資産合計	250,049	266,239

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
売上高	117,704	113,307
売上原価	90,493	83,511
売上総利益	27,211	29,796
販売費及び一般管理費	17,773	18,390
営業利益	9,437	11,406
営業外収益		
受取利息	90	232
受取配当金	214	212
為替差益	362	149
その他	576	400
営業外収益合計	1,243	995
営業外費用		
支払利息	127	110
固定資産処分損	29	93
その他	230	151
営業外費用合計	387	354
経常利益	10,294	12,047
税金等調整前四半期純利益	10,294	12,047
法人税、住民税及び事業税	3,111	3,869
法人税等調整額	308	153
法人税等合計	3,420	4,023
四半期純利益	6,873	8,024
非支配株主に帰属する四半期純利益	437	633
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,436	7,390

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	6,873	8,024
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△395	2,185
繰延ヘッジ損益	△14	10
為替換算調整勘定	11,169	5,880
退職給付に係る調整額	△34	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△80
その他の包括利益合計	10,709	7,974
四半期包括利益	17,582	15,998
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,158	14,203
非支配株主に係る四半期包括利益	2,424	1,795

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,294	12,047
減価償却費	3,305	3,277
貸倒引当金の増減額（△は減少）	157	326
賞与引当金の増減額（△は減少）	△230	△231
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△33	31
受取利息及び受取配当金	△304	△445
支払利息	127	110
売上債権の増減額（△は増加）	2,363	3,176
棚卸資産の増減額（△は増加）	△4,305	1,010
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△1,124	△490
仕入債務の増減額（△は減少）	254	273
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△340	155
その他	474	418
小計	10,638	19,659
利息及び配当金の受取額	303	482
利息の支払額	△120	△94
法人税等の支払額	△3,574	△4,417
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,247	15,630
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△514	—
定期預金の払戻による収入	50	1,536
有形固定資産の取得による支出	△4,032	△2,843
無形固定資産の取得による支出	△547	△213
有価証券の取得による支出	—	△999
有価証券の売却による収入	—	1,399
投資有価証券の取得による支出	△6	△16
投資有価証券の売却による収入	174	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△101	△53
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	265
その他	△42	△260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,020	△1,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△5,295	△546
長期借入金の返済による支出	△225	△721
長期借入れによる収入	1,508	303
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	18,090	—
配当金の支払額	△3,789	△3,776
非支配株主への配当金の支払額	△432	△706
リース債務の返済による支出	△162	△205
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△10,092	—
自己株式の取得による支出	△4,001	△1
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,400	△5,655
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,717	1,755
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	544	10,546
現金及び現金同等物の期首残高	44,997	47,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,542	58,490

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	71,654	46,050	117,704	—	117,704
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,581	—	1,581	△1,581	—
計	73,236	46,050	119,286	△1,581	117,704
セグメント利益	3,783	7,459	11,242	△1,804	9,437

（注）1 セグメント利益の調整額△1,804百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,804百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	化成品	建装建材	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,697	49,610	113,307	—	113,307
セグメント間の内部売上高又は 振替高	1,992	0	1,992	△1,992	—
計	65,689	49,610	115,300	△1,992	113,307
セグメント利益	4,225	9,090	13,315	△1,909	11,406

（注）1 セグメント利益の調整額△1,909百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,908百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理部門（人事、総務、経理部門等）に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。